



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年10月24日

第22号

力を合わせ、力を高める スポーツの秋、芸術の秋

今週から校内の中距離走記録会が始まっています。運動会後の重点練習や1学期からのGo! Go!つばきッズ（3分間走）の成果を生かせるように、友達に励まされながら懸命に走り切る姿が頼もしく感じられます。

一方、11月の市小学校音楽会に向けて、5・6年生が器楽の練習を続けています。9月から、運動会の鼓笛隊練習と並行して各パートの譜読み練習を始め、10月中旬からは音楽の授業を2学年合同で行い、全体で合わせる段階になってきました。中には休み時間にも自主的に音楽室に集合して練習をする子たちもいて、ふと気がつく校内にはBGMのように『銀河鉄道999』の曲が流れています。ノリノリの曲に心が弾みます。違う教科の学習までテンポよく進みそうな気持ちになります。

スポーツ、芸術、読書、etc…。仲間と力を合わせたり、自分のレベルアップを目指したりと、それぞれの楽しみ方で秋を過ごしましょう。

よい授業は一人一人がつくる みんなでつくる

★「よい授業をつくる19のヒント」を生かす

さて、秋は「勉強の秋」でもあります。本校では2学期から「よい授業をつくる19のヒント」の資料を作成し、活用しています。これは8月の学力向上研修会で教えていただいた「19の学びの姿」を基に作ったものです。

その研修会の際に、私は富大教育学部准教授 増田美奈先生に「これを子供にも分かるような言葉で書き換えて、教室で活用してよいでしょうか」と質問したところ、「是非そうしてみてください!」とお墨付きをいただきました。

そこで今回、村椿小学校バージョンとしてアレンジをしたのでした。

自分がすることを具体的にイメージすることで、真剣に授業に取り組み、「主体的に学ぶ、対話的に学ぶ、深く学ぶ」ことに繋がるのではないかと期待しています。

21日（火）には校内研修として1年道徳科の授業を参観しました。この授業では、登場人物の心情を思考ツール（帯グラフのようなもの）を使って各自が表現し、それを見比べることで考えを交流し合い、深めていました。ここには「思いや考えを表そう」「互いの考えを比べよう」「よく考え問い続けよう」の3つの姿がありました。また、授業の振り返りでは「自分と結びつけよう」の姿も見られました。たくさんの子供の学びの姿が見られる授業だったと思います。石井先生からよい提案をしてもらいました。

「19のヒント」から授業の組み立てや流れを考えることは、教師自身にとってもよい意識付けになりますし、子供もこうしたヒントを心に留めることで、「あ、今自分はねばり強く取り組めたな」「隣の友達と協力して問題を解決できたな」と自分の学びの姿を客観的に見る（メタ認知）ができます。

「先生に言われたことをする」受け身の授業から、「自分も授業をつくる一人なのだ」という思いをもって進んで授業に参加する、「主体的な学び手」へと子供が成長していくことを願います。



自分がつくる みんなでつくる よい授業 「19のヒント」			「よく考える子」村椿小学校
主体的に学ぶ	対話的に学ぶ	深く学ぶ	
興味や関心を高めよう	互いの考えを比べよう	よく考え問い続けよう	
見通しをもとう	多様な情報を集めよう	知識・技能をしっかりと身につけよう	
自分と結びつけよう	思いや考えを表そう	知識・技能を生かそう	
ねばり強く取り組もう	いろいろな方法で説明しよう	自分の思いや考えと結びつけよう	
ふり返って次につなげよう	昔からあるすぐれた考えを手がかりとしよう	知識や技能を分かりやすくまとめ直そう	
	ともに考えをつくりあげよう	自分の考えを形づくらう	
	協力して問題を解決しよう	新たなものをつくり上げよう	



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想・学校へのご意見をお願いします 切り取り できればお名前 or 児童名()

10月の短歌「授業中(学習中)の出来事」(または自由)を紹介します

- 道徳は相手の気持ちよくわかる　たくさん書くぞ今日のプリント　(4年M・Mさん)
- 図工でねクリアファイルに金魚の絵　くじらみたいに水をふき出す　(2年N・Kさん)
- かんがえてといてみたけどまちがえた　よくよくよめばそういうことだ　(1年I・Aさん)
- 家帰りおかし食べ食べ宿題だ　気づいたころにはおかしに夢中　(6年K・Sさん)
- さんすうで時間のべんきょういまなん時　こたえはもうすぐきゅうしょくの時間！　(2年T・Sさん)
- おばあちゃん音読中にまちがえた「ぎぶんと」なぜか「ぎぶとん」になる　(6年A・Yさん)

今回は32人から49首が集まりました。ふとした出来事への「気付き」と「観察」が大切だと、子供たちの短歌からいつも教えられます。

さて、去る19日(日)に県民会館で今年度の富山県短歌大会があり、ジュニアの部の表彰式も行われました。本校からは7名の入賞者(うち1名は欠席)が表彰されました。速報としては21日付の北日本新聞で紹介されましたが、近日中に改めて北日本新聞に一覧で掲載される予定です。入選者名(本校は6名)も掲載されますのでご注目ください。



シリーズ「教室におじゃまします」10月21日(火)2年算数科の巻

1年生の時は「しかく」「さんかく」…と図形を大まかに見分けましたが、2年生では「四角形」「三角形」と、図形の性質をより詳しく学習します。この日はその導入として「こんな形は作れるかな」の学習でした。教科書にシルエットで示されたロケットや魚、家等の形を、



細かな8つのパーツ(いろいろな四角形や三角形)を組み合わせて作ります。いわゆるタングラムです。教科書の巻末付録のパーツを各々切り離すところから始め、準備できた子から早速図形を作ります。一人で考えたり、時には隣の子をのぞき込んだり相談したりと、学習の進め方はまちまちでしたが、教室内に落ち着いた雰囲気漂っているのが2年生のよいところだと感じました。

図形が完成する度に自分で撮影します。10月になり新しいタブレット端末に切り替わりました。「これまでよりちょっと重いな」と戸惑いつつも、すぐに慣れた様子でカメラを操作していました。

一通り撮影し終わったデータを提出すると、廣瀬先生がスクリーンに映します。子供たちは「同じです!」「少し並べ方が違います」などと、その都度ハンドサインを出しながら反応していました。次回からはこの8つのパーツを使って四角形と三角形の学習に入るようです。



一通り撮影し終わったデータを提出すると、廣瀬先生がスクリーンに映します。子供たちは「同じです!」「少し並べ方が違います」などと、その都度ハンドサインを出しながら反応していました。次回からはこの8つのパーツを使って四角形と三角形の学習に入るようです。



<おまけのひとりごと> 5・6年生が練習している『銀河鉄道999』は元々は昭和の時代のアニメの曲でした。テレビ放映された際の当初の主題歌はもっと重々しいものでしたが、「ゴダイゴ」が新たに作ったこの曲は、メロディーも英語交じりの歌詞も当時としてはとても斬新だった記憶があります。その後平成の終わりには、かのEXILEがよりカッコよく歌い、再ヒットしました。私はその頃CDを買って何回も聴きました。そして令和の今になっても少しも古い感じがしない! 万人が楽しめる名曲です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想・学校へのご意見をお願いします 切り取り できればお名前 or 児童名()